

「ホワイト物流」推進運動

持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

| 企業・組合名 | 役職 | 氏名 | 所在地 | 主たる事業 | ホームページ |
|---------|---------|-------|-----|-------|---|
| 東ソー株式会社 | 代表取締役社長 | 山本 寿宣 | 東京都 | 製造業 | http://www.tosoh.co.jp |

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新: 2019年9月25日

(取組方針)

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組みます。

(法令遵守への配慮)

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

(契約内容の明確化・遵守)

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

| No. | 分類番号 | | 取組項目 | 取組内容 |
|-----|------|---|------------------|---|
| 1 | A | ① | 物流の改善提案と協力 | ・取引先や物流事業者から、荷待ち時間や運転者の手作業での荷卸しの削減、附随作業の合理化等について要請があった場合は、真摯に協議に応じるとともに、自らも積極的に提案します。 |
| 2 | A | ③ | パレット等の活用 | ・パレット、通い箱等を活用し、荷役時間の削減に努めます。 |
| 3 | A | ⑤ | 納品日の集約 | ・取引先から隔日配送化、定曜日配送化等の納品日の集約に関する提案があった場合は、真摯に協議に応じます。 |
| 4 | A | ⑥ | 集荷先や配送先の集約 | ・トラック運転者の拘束時間を短縮するため、物流事業者から集荷先や配送先の集約について相談があった場合は、真摯に協議に応じます。 |
| 5 | A | ⑨ | 荷主側の施設面の改善 | ・倉庫、ローリー充填場等の物流施設の集約・増設・レイアウト変更等を行い、荷待ち時間や荷役時間の短縮に努めます。 |
| 6 | A | ⑭ | 船舶や鉄道へのモーダルシフト | ・長距離輸送について、トラックからフェリー、RORO船や鉄道の利用への転換を行います。この際に、運送内容や費用負担についても必要な見直しを行います。 |
| 7 | B | ① | 運送契約の書面化の推進 | ・運送契約の書面化を推進します。 |
| 8 | D | ① | 荷役作業時の安全対策 | ・荷役作業を行う場合には、労働災害の発生を防止するため、安全な作業手順の明示、安全通路の確保、足場の設置等の対策を講じるとともに、事故が発生した場合の損害賠償責任の明確化を図ります。 |
| 9 | D | ② | 異常気象時等の運行の中止・中断等 | ・台風、豪雨、豪雪等の異常気象が発生した際やその発生が見込まれる際には、無理な運送依頼を行いません。また、運転者の安全を確保するため、運行の中止・中断等が必要と物流事業者が判断した場合は、その判断を尊重します。 |
| 10 | F | ① | 共同物流の推進 | ・他社と連携して、製品の共同輸送や容器の共同回収等効率的な輸送の実現を目指します。 |

PR欄

「私たちの東ソーは、化学の革新を通して、幸せを実現し、社会に貢献する」という企業理念を実現することこそが、東ソーグループのCSRであるとの考えのもと、事業活動を展開しています。物流活動においても、東ソーグループのCSR基本方針に則り、関係する物流事業者のご協力を得て、コンプライアンスの徹底、安全・安定輸送への取り組み、物流に関わるエネルギー単位の改善等に取り組んでいます。